

1979

義太夫

女義の虚像と実像

—いつまで続く「女人禁制」—

会長 吉川英史

義太夫協会々報
第18号

昭和54年6月20日

社団法人 義太夫協会発行
〒104 東京都中央区銀座

6-18-2

新橋演舞場別館 TEL(541)5471

ニッポン人といえば、いまだにチョンマゲをつけて、人力車に乗っていると思われている外国人もいるそうである。ところが、「そんな馬鹿な」と笑えない事が、日本人にもあるのである。女義太夫といえば、いまだにサワリの所だけを、安っぽく語る大衆芸能だと思われている日本人が多いという事実もその一例ではなからうか。

明治・大正時代の女義太夫は、娘義太夫といわれた。その名前が示すように、演奏者は、年季の入った芸よりも、若さと容色に重点がおかれた。サワリの色っぽい部分で、頭を振るとたんに落ちる赤いカンザシ!! 芸術的技巧や義理と人情のかつどうを味わうというよりも、女色的雰囲気陶醉した男の客たちが、

「どうする、どうする」と囁し立てたのだそれである。

そのような娘義太夫を、一名「タレ義太」といった。それは女義に対する屈辱的差別語であると同時に、そういう心でしか鑑賞しなかった男たちが実在したことを証明する名称でもある。タレ義太をタレ義太にしたのは、娘義太夫を語った本人たちではなく、男のドウスル連であったのである。

「女人禁制」の制札を立てたのは、仏教の世界ばかりでなく、芸能の世界にも多かった。六字南無右衛門などの女浄瑠璃や、女歌舞伎を禁じたのは、男の役人であった。女を不浄な者と賤しんだのも、風紀の乱れの原因は男女同席にあるとして、芸能界に女人禁制の制

札を立てたのも、男の勝手なエゴであった。女人禁制の歌舞伎でも、ようやく女の囃子方が出現した。歌舞伎俳優が新派の女優と共演する時代になった。人形浄瑠璃の世界でも、男女平等、機会均等の時代が一日も早く来ることを期待したい。文楽の人形遣いと女義が組むことに反対する文楽ファンがいるであろうか? 歴史は変わりつつあるのである。

それはさておき、今の女義は容色を売り物にして、芸を二の次にするものでなく、本格的に義太夫節を演奏している。男が女らしさを表現する男性の義太夫にも芸術的価値があるというなら、男らしさも表現できる今の女義の芸にも、同様の芸術的価値があるといわなければならない。女義竹本土佐広は武蔵坊弁慶も、加古川本蔵も立派に表現できるのである。

今や、文楽の太夫・三味線・人形の階級性はくずれ、人形遣いにも人間国宝ができていく。また、文楽の義太夫(本業)と歌舞伎の竹本との階級的差別は、竹本難太夫氏の人間国宝実現によって、一応撤廃された。

この次は女義の番である。もし、いつまでも女義からは人間国宝を出さないということであれば、私の批評眼の誤りその他の責任を取って、私は文化財専門審議委員と義太夫協会の会長の役を、両方辞すべきであろうと考えている。

義太夫の思い出あれこれ

河野 国 声

第18号

義太夫協会々報

1979. 6. 20

義太夫の稽古については限りなき思い出もあるが、先師に教えられたこと、本を読んで知ったこと、体験したことなど、思いつくまま書いてみましょう。

ことに最近録音器という方便があるので楽しいこと、師も知らぬ間に私は土佐広師の至芸「引き窓」をいただいたりしています。文化的の師匠なら、自分の芸を録音して、それを御連中に利用させ、稽古日数を短縮すると便利です。お弟子さんも喜ぶでしょう。

私は大正の昔、古靱太夫のレコードで、二十何段も丸ごし全段みなおぼえて、師匠なしの義太夫を、東京中を大威張りで語り歩いたものです。そんな縁で古靱さんとは特別な間柄となり、師を東京に迎えた折にお稽古して頂いただけで、あっぱれ古靱節の継承者を独り決めていられるほどの楽しさも芸道なればこそ、幸せなことだと思つて居ります。

私に伊賀八の幸兵衛のような心組みでか、特別に氣を入れて熱心に教えてくれた名人・夙川の吉兵衛師匠は、三時間も精魂を込めて稽古をしてくれた或る日の夜、正座したまま

大往生をとげられたという達人の死、お稽古も全く命がけの烈しさでございました。私もこのお稽古のときは、玄人以上の真剣さで、土佐広師もよく知つて居られます。

昨今は、時に仙広師の家で稽古しますが、師は清六時代を、私は古靱當時を思い起こしつつ、一所懸命、必死にやつて居ります。往年の古靱・清六のかみ合いにも負けぬ真剣さであることなど、お目にかけたいほどです。

古靱師の思い出を書けば山ほどありますが、師の若い頃からのひいきに、政界の大立もの杉山茂丸（其日庵）という人物が居て、昭和八年七月東劇で古靱の詐屋を聞いて感心し、その感激を書いて岡崎の床本といっしょに古靱師に贈ったといういわれ書きが書いてある。その本を古靱師が十年間愛用して、十九年五月、詐屋の稽古の終わったとき、吉兵衛師仕込みの岡崎の床本と併せて、見台・肩衣その他を揃えて私に贈られたものが、今では思い出深きものとなり、古靱風の詐屋と、厳格な古武士風の吉兵衛師の岡崎と、特に二人の名匠が私の体の中に生きて居られる思いなのです。

杉山其日庵の書き残した義太夫の心得が、

義太夫大鑑下の巻二二九頁以下に、十五章あり、同大鑑の上下、千余枚には義太夫の詳細があり、稽古の心得も山ほどあるので抜粋したいのですが、長くなるので、私の冗談二十章を書いて投稿ご依頼の責めを果たします。

面白浄瑠璃天狗病二十章

1. 十人もの人物を一人で語る義太夫の面白さ
2. 嘘から出た誠や 誠らしく嘘も語れる面白さ
3. 悪声の人も工夫次第で面白く語れる浄曲の味
4. 悲しい浄瑠璃も太夫次第では面白く聞ける
5. 節に言葉あり言葉に節ありと、言葉の面白さ
6. 息を切らずに息を切る面白い矛盾にも驚ろく
7. 息と呼吸、腹で語る、臍で泣き笑うこつ要領
8. 泣き下手でも笑えぬ面白さあり社長十八番
9. 浄るり悲し下手な太夫が近所の嫌味増腐らす
10. 寝床で義太夫上達の面白い方法を考案した私
11. 古靱の録音を小音で楽しく聞き乍ら毎晩眠る
12. 古靱清六が床で争った面白さを床の中で味う
13. 角力が國技なら河野義太夫は國声だと囁ぶく
14. 好きこそ物の上手と、下手の横好きの名勝負
15. 切るにも切れぬ悪縁か病みついた義太夫熱
16. 素人も玄人も面白いほど天狗になる発熱芸術
17. 咽喉の熱も耳の熱も耳鼻咽喉科悉くが謎の熱
18. 面白い天狗熱は遺伝か伝染か武市先生に聞け
19. 稽古熱心は健康の秘訣浄曲病に病魔も呆れる
20. 素人は下手でよい、独りで面白く楽しむ道楽

1979. 6. 20

故実と作品



内 野 三 恵

故実といっても、動かぬ史実とは限らぬし、史実と云っても、悉くは信用できない。

各種の作品、義太夫も史実・野史・稗史・伝説・空想・幻想・過去の作品などからヒントを得て作られる。

じっくり取組むべき事柄なれども、いま都合上、一、二の例を引いて、粗稿をまとめざるを得ない。

「弁慶上使」についてみると、弁慶は素生も生い立ちも不明確で、義経との出会いも、京の五条の橋の上と簡単にゆかない。父親の素生や名ひとつ取っても様々である。熊野別当弁曉、或は藤邦綱子、紀州の岩田入道寂昌、弁真或は弁心、弁正（一名湛書）生れた場所もさだかでない。

「上使」に遠い関係、また近い関係事で、ある雑記に、弁慶は一度文と會し、会交をこ

ころみ、一度千会に同じと悟って、再び会交せずと。書寫山の稚児即ち寺小姓時代のことだ。寺小姓は、弘法大師御創案という男色のことで、弁慶には不似合である。その時、後の姉信夫が生れ、十八年目に名乗らぬ親子対面のうちに首にされて終う。好色家義経が平時忠の女卿の君を兄頼朝に無断で妾に入れたので、頼朝が、義経時忠同心でなければ、卿の君の首を渡せとなり夜討となった。

また陣屋の熊谷の「……一枝を伐らば一指を剪る可し……」の制札も義経が熊谷に敦盛の身代に小次郎直家を立てよの謎として弁慶に書かせたという。又有名なのは、義経が平家を西海に壊滅して後、頼朝の誤解を解きたく腰越まで来て鎌倉に入れられず、大江広元に斡旋を頼んだという腰越状も弁慶筆と伝えるが、偽筆とされる。又腰越状の史実もみえない。

源氏を書いていると、維盛（一本に惟盛）を思う。清盛の嫡孫、これほど弱虫大將も史上希である。頼朝が拳兵し西進すると、追討使となり富士川に敗走、また義仲と磯波山に戦って大敗し、平氏一族と西国へ都落に際し、中途から一人逃れて高野山に入り、ついで紀伊の牟漏郡藤縄に匿れ、それから後が判然せず入水したと伝える。従って『義経千本桜』、詐望も何もあったものではない。が、戯曲は

出雲の上作で、唯の權太のわが妻子を維盛の奥方子息六代に仕立て、この前段「椎の木の段」で討死した奥方の忠臣小金吾の首 弥左エ門が首を詐おけに入れたもの（を維盛の首と偽って堀原景時にさし出す。平三景時は、權太へ賞として手形代りに頼朝の陣羽織を渡す、維盛が切開くと袈裟衣が出る、高野入からのヒントである。この時の若葉の内侍、六代は維盛が高野か熊野にかくれた噂から後を追って奥嵯峨から旅に出たのであった。かなり史実に近く、六代は北條時政に鎌倉に引かれるが、頼朝は文覚との約を守り、僧になることで生命を助けるが、成人後時政が六代を殺してしまう。

おおざっぱに見て、故実と作品はこんな具合で、殊に江戸期までの作品は、客に受ける受けぬが第一条件であり、その為に喜怒哀楽の変化、義理人情の高揚が必須であった。併せて戯曲の虚づくために、戯曲的合理性をもち首尾一貫せねばならず、戯曲のスケールは大なるを要した。明治以来こうした破天荒の大戯曲の書ける作家は、皆無となった。

この残された貴重な作品の演技に挑まれる義太夫協会の女史たちを羨望する。

健康という事について

豊澤 猿三郎

人は健康が何より大切な事は申す迄もありません。此の処、芸界の主だった人が次々と亡くなられました。例えば長唄の富十郎、栄二、常盤津の千登勢太夫、菊三郎、清元の邦寿、鼓の藤舎呂船の諸氏、ほとんどが私より年下でいられます。私はお蔭様で明治四十四年、五代目猿之助師の内弟子と成り因協会へ入会致しまして六十九年、昭和三年役員に選ばれて五十一年間、連続役職を勤めさせて頂いて居りますが、一日も病気で舞台を休みました事も、人様に代り役をして頂いた事も無く、七十年近くを過ごさせて頂きましたのも、偏に健康の有難さと存じます。

昭和三年は御承知の様に義太夫界衰微の極でした。その時は、若気の至りで、東京に人形座を創立してはと建言しました処、それでは大阪へ行って人形師を引き抜いて来いと大役を申し渡され、地下戦路で大幹部の小兵吉、政亀、徳三郎、扇太郎、紋太郎、若手であった辰五郎の各氏、二十名程を秘密の内に引き抜きに成功、この間約一週間、大阪の旅館にいても、ほとんど不眠不休でした。此の事業をやり遂げて帰京する迄には、先代米太夫兄の親身も及ばぬ加護がありました事、有難く思っております。

切、昭和四年一月、開盛座で初興行の十

日前に久しく休場していた劇場のため、引幕が無く、私の名前で引幕を作りました。舞台十二間、高さ三間の引幕が、さら五さんで百五十円にまで下さいました。お客様は十日間よく入って下さるのですが、大阪からおいで頂く人形遣いさんの御給金、旅費、宿泊料等莫大な費用のため、観西翁、津賀太夫、米太夫、さの太夫、猿之助、団左衛門の各氏が三百円宛、巴太夫、近衛太夫、猿蔵、私、桑造の五名が百円宛、合計二千三百円を毎月銘々が支出です。経費節約のため女給は使わず、猿蔵、私、桑造、巴太夫の女房達が仲売りや案内人です。コロンポではありませんが、私のカミサンは今年五十才の仲が腹に入ってたので、狸の様な案内女でした。それでも一同苦しい乍ら毎月興行を続け、遂に十月には財政的に音を上げる人がではじめ、十月の日連記の通し狂言を最後に、飛行館で打止めました。昔から、日連記を出せば終りというシンクスがありますが、成程と存じます。近頃、協会でも猿玉、猿幸、光末などの諸氏が亡くなられ、大正十年には三十二名いた猿之助一門も遂に私一人と成りました。会員の皆様、お互いに御健康に、元気に舞台を勤めようではありませんか。

社団法人 義太夫協会 昭和53年度収支決算報告書

貸借対照表 (54. 3. 31現在)

(借方)			(貸方)		
科	目	金額	科	目	金額
現	金	192,052	基	本	3,000,000
当	座	16,424	運	用	1,100,000
定	期	3,000,000	前	受	182,000
普	通	7,835	借	入	2,674,065
郵	便	31,625	預	り	1,143,180
未	収	156,000	未	払	30,000
敷		200,000	繰	越	-214,823
什	器	867,565	小	計	8,344,068
電	話	73,438	当	期	3,799,129
合	計	4,544,939	合	計	4,544,939

1979 6.20

義太夫協会々報

第18号

損 益 計 算 書 (54. 3. 31現在)

収 入 の 部	勘 定 科 目	支 出 の 部	差 引 損 益
1,156,000	会 費		
1,089,000	寄 附 金		
102,850	雑 収 入		
4,200,000	助 成 金		
6,547,850	(小 計)		
	事 務 消 耗 費	12,865	
	家 賃	360,000	
	事 務 用 品	39,100	
	事 務 費	21,985	
	給 料 ・ 諸 手 当	1,032,850	
	交 通 費	138,890	
	通 信 費	265,490	
	交 際 費	145,270	
	会 議 費	71,680	
	光 熱 費	27,309	
	倉 敷 料	60,000	
	印 刷 費	97,830	
	税 金	10,000	
	手 数 料	6,740	
	宣 伝 費	19,000	
	購 読 料	22,600	
	研 究 費	164,500	
	会 報	133,900	
	諸 雑 費	26,200	
	雑 損	116,000	
	(小 計)	2,772,209	
849,300	義 太 夫 教 室	3,329,900	△ 2,480,600
1,316,200	協 会 公 演 会	3,955,340	△ 2,639,140
320,000	学 校 巡 演	1,731,430	△ 1,411,430
56,500	教 師 講 習 会	1,433,790	△ 1,377,290
452,360	慈 善 公 演 会	452,360	0
160,000	芸 団 協	77,100	82,900
560,900	都 邦 楽 祭	254,300	306,600
0	祖 先 祭	63,380	△ 63,380
136,000	新 年 会	128,430	7,570
3,851,260	(小 計)	11,426,030	△ 7,574,770
10,399,110	合 計	14,198,239	△ 3,799,129

協会の動き

昭和54年1月より
昭和54年6月まで

(昭和五十三年度)

1月20・21日 義太夫協会公演会 於本牧亭
1月27日 新春懇親会 於ほんもく
2月7日 昭和53年度民間芸術等振興費補助金(青少年等芸術普及事業)交付申請書提出

申請書提出

2月20・21日 義太夫協会公演会 於本牧亭
2月23日 昭和54年度芸術関係団体補助事業計画書提出

2月25日 '79都民芸術フェスティバル 第九回邦楽演奏会に参加。鳴門、新口村を演奏した。於第一生命ホール

3月5日 吉川会長・仙広副会長、大丸文化庁長官と会談。

3月10日 芸団協会員団体懇談会(邦楽部門)前日にハワイより帰国の綾太夫事務局長出席 於芸団協会議室

3月13日 第五回芸団協功労者表彰式 義太夫協会からは、竹本越道常務理事が受賞した。於銀座東急ホテル

3月15日 第五期歌舞伎俳優研修生・竹本講習生試演会 於国立劇場小劇場

3月20・21日 義太夫協会公演会 於本牧亭

3月20・21日 義太夫協会公演会 於本牧亭

(昭和五十四年度)

於東横ホール

3月27日 義太夫教室(31期)語りコース終了
3月30日 名韻会学生邦楽大会に義太夫教室生徒・OBが参加、吉野山道行を演奏した。指導・竹本弥乃太夫

4月3日 定例理事会 54年度事業・役員変更について他 於新小松

4月4日 53年度民間芸術等振興費補助金実績報告書提出

4月5日 53年度民間芸術等振興費補助金の額の確定通知 四、〇〇〇、〇〇〇円

4月18日 芸団協邦楽部門会議

4月20・21日 義太夫協会公演会 於本牧亭

21日は、竹本越道芸団協功労者賞受賞記念の会。吉川会長より表彰状披露の後「外国人が義太夫を演奏する時代だから、越道師のように巾ひろく活躍する方を続々と出して、外国人に先を越されないように」との挨拶。語りものは宿屋、盛会であった。

5月15日

文化庁文化普及課、54年度事業についての事情聴取。その後、仙広副会長、綾太夫事務局長が、文化庁長官、文化部長と話し合いをもつ。

5月16日

常務理事会 於新小松

5月17日

第四期竹本講習生選考試験 三名が合格した。

5月18日

芸団協総会 綾太夫事務局長出席 竹本駒龍会(義太夫協会協賛)一時間を越す詐屋の熱演に場内は圧倒された。於本牧亭

5月21日

義太夫協会公演会 於本牧亭

5月22日

昭和54年度総会 会長・副会長挨拶。53年度事業報告・決算報告(4・5頁参照)。54年度事業計画、予算案および役員の一部変更案を審議、可決(8頁参照)。於新橋演舞場三階大食堂

5月25日

第六期文案研修生・第四期竹本講習生の合同開講式

5月29日

文化庁助成義太夫教室第三十二期開講 約三十名が受講中。於俳優協会稽古場

6月20日

会報第18号発行

鶴沢扇糸師

おめでとうございます。

竹本連中の鶴沢扇糸師が、春の叙勲で勲五等双光旭日章を受けられました。今後とも舞台に、後継者の指導に、益々御活躍下さい。

〔曲節メモ〕4

『角太夫節』 京浄るりの一派。寛文年間（一六六一）栄えた。此の流派から文節節が出る。山本角太夫は京都で、山本土佐縁として土佐節を弘めた人。当時江戸には、内匠土佐少縁が自分の土佐節を弘めたので、両者を区別する為、京都の土佐節を山本角太夫の角太夫節と称するようになった。ふしも細やか拍子も軽がる角太夫といわれるように、優婉な曲風は京風ともいえる。

例証『柳』に「母は今を限りにて、もとの柳に帰るぞや、必ず草木成仏とオ。今を限りにての合を、あまりケレン味を出しすぎると優しさがなくなる。」

『土佐節』 江戸風の荒事は、薩摩の流れ物妻くともあるように、江戸浄るりの一派で、延宝宝永年間（一六七三—一七一〇）特に栄えた。元来土佐少縁は薩摩浄雲の座の人形遣いの子で、彼の浄るりには浄雲の曲節によるところが多い。当時の江戸では、他の浄るりの諸流派が、歌舞伎に結びついていったのに対し、土佐節は操人形の浄るりとして、その地位を保っていた。正本には土佐節を『江戸』と記譜されている事が多い。

例証『五條橋』の弁慶の勇壮さを、此の土佐節にはめ込んだのも当を得ているといえよう。西塔の武蔵坊弁慶はその頃都にありけるが、五條の橋には人をなやます曲者ありとさししかば一中路一人も空も晴るゝ夜の、月も音羽の山の端に、出立つ鐘は黒皮おどし好むところの道具には一以下路、テツツンの繰返しが多いのが土佐節の持長である。（赤）

ハワイ大学の歌舞伎

「忠臣蔵」のこと

竹本綾太夫

今春、ハワイ大学にて歌舞伎の研究公演が行われました。ハワイ大学の民族演劇科と民族音楽科は、全米でも有名なもので、特に歌舞伎は群を抜いております。二年に一回、担当のブランドン博士を中心に、演劇・音楽の学生・大学院生・研究生、それに全米大学の志願生を加えてチームを作り、一年がかりで研究し公演します。人種構成は、白人四割・日系の三・四世が五割・その他が一割位です。過去に「鳴神」「桜姫東文章」「助六」「弥次喜多」その他を演じましたが、本年度は忠臣蔵の通し（大序・進物・殿中刃傷・お軽勘平道行・判官切腹・城外・一力茶屋・討入）でした。指導者は中村又五郎師で、昨年の九月から基礎練習が始まり、その助手として中村又蔵・又志郎さん・綾太夫・田中佐太郎（鳴物）・国立劇場舞台課の浜谷氏が参加致しました。今迄は義太夫の演奏者がなかったのが、義太夫狂言は見送っていたのですが、音楽科のチエ山田講師（素晴らしい長唄の指導者）が、二年前から楽器を揃え、長唄の学生の中から義太夫に向いた声の人を用意していました。私は正月の五日に渡航し、三月十日迄の二ヶ月余、私なりに努力しましたが、そこそこの成果を挙げたのではないかと思っています。それは、山田さんの長唄の弟子でイッコ田川さん（日系三世）という凄く勤の良い

義太夫びつたりの声の人がいて、山田さんの太榎と共に演奏法をマスターしてくれましたので、大序・四段目・七段目など実にうまくいったからです。その他ビル君（白人の太夫）・レイ田川・リン小林さん（共に日系四世で太榎）なども大いに勉強してくれました。私は毎日昼から日本音楽堂で、太夫と三味線の稽古をし、夕方から夜十時迄は、忠臣蔵の立稽古に弾語りで参加しました。一月中はセリフも義太夫も日本語で行われましたが、二月に又五郎師が再度見えた頃からは、セリフは英語に替り、義太夫は出来上ったところから私と交替し、二月中頃からはこれも英語に替りました。主語と述語が逆であり、アクセントが違い、語の長さも違います。しかし時間をかけて訳された英語は、実にうまく三味線の間にはまり、ほんの少し手直しをしたに止まりました。三月六日の初日（以後二ヶ月続演される）は大成功で、又五郎師他の方は仕事で帰国されていたので、私一人が見届けたわけですが、終演後ブランドン博士が「義太夫狂言がこんなにうまく出来て嬉しい」と強く手を握ってくれたのが忘れられません。ほんの少し歌舞伎と義太夫の為にもなり、怠け者の私としては二年分位の勉強と経験を得、誠に幸せであったと思っております。

1979、6、20

義太夫協会々報

第18号

寄 附 (昭和53年度)

(特別会員・賛助会員の部、その他)

鈴木	一光様	一〇〇、〇〇〇円
都築	健一(入船堂)様	一〇〇、〇〇〇円
都築	八郎(故入船堂)様	六〇、〇〇〇円
河野	国声様	五〇、〇〇〇円
吉田	幸三郎様	五〇、〇〇〇円
奥村	土牛様	三〇、〇〇〇円
内野	正幸御夫妻様	二〇、〇〇〇円
高野	俊雄様	二〇、〇〇〇円
本牧	亭様	二〇、〇〇〇円
和田	博様	一〇、〇〇〇円
渡辺	兼佐様	一〇、〇〇〇円
渡辺	隅近様	五、〇〇〇円
島	春栄様	三、〇〇〇円
菅原	大常様	一、〇〇〇円
福島	良三郎様	一、〇〇〇円

☆慈善公演については会報17号(1月19日発行)を御参照下さい。

△寄 贈△

建松	愛寿様	コマ 三ケ
間庭	勝様(故猿樂師御遺族)	コマ 十ケ
河野	国声様 テープ(詐屋・岡崎)一本	

ありがとうございます。大切に
使わせて頂きます。

特別会費二口以上の方

(53年4月1日～54年3月31日扱い分)

内野	正幸様(53年度10口)	五〇、〇〇〇円
菅	邦夫様(53年度4口)	二〇、〇〇〇円
石塚	晃玉様(54年度2口)	一〇、〇〇〇円
小田	切一鳳様(53年度2口)	一〇、〇〇〇円
景山	正隆様(53年度2口)	一〇、〇〇〇円
加藤	利一様(53年度2口)	一〇、〇〇〇円
加藤	道子様(53年度2口)	一〇、〇〇〇円
菅野	光雄様(53年度2口)	一〇、〇〇〇円
品川	欣司様(53年度2口)	一〇、〇〇〇円
菅原	大常様(53年度2口)	一〇、〇〇〇円
高野	俊雄様(53年度2口)	一〇、〇〇〇円
真岩	正信様(54年度2口)	一〇、〇〇〇円
松前	重義様(54年度2口)	一〇、〇〇〇円
森	寿美様(53年度2口)	一〇、〇〇〇円

役員一部変更

五十四年度総会で、左の通り役員の一部変更が承認されました。今後ともよろしくお願
いたします。

☆	常任相談役	内野 正幸・鈴木 一光
☆	相談役	景山 正隆・高野 俊雄
参 与		田香 隆 (敬称略)

芸能人年金規約改正

！配偶者も加入できます！

こんどから現在芸能人年金に加入している人、年金を受給している人の配偶者で、18才以上、60才以下の人が加入できるようにになりました。奥様でも旦那様でも、国民年金、厚生年金の加入者でも構いません。一度御検討下さい。未加入の方は、この機会におそろいでどうぞ、
お問合せ、御相談は事務局まで

計 報

- ▼常吉 勝氏(賛助会員) 53年12月27日逝去
 - ▼竹本松太夫師(正会員) 54年3月12日逝去
 - ▼豊竹 小仙師(正会員) 54年5月14日逝去
- 御冥福をお祈りいたします。

編集後記

新橋演舞場が、地上16階、地下5階の高層ビルに生れかわると正式発表されました。義太夫協会も8月中頃には事務所の移動をする事になりそうですが、今のところ梅雨空のごとき状態で、はっきりしたことは決っておりません。いづれにしても会報が出来あがったら大掃除の予定、カラリとした梅雨あけの頃には、落ちつき先も決ることと思います。